

株主の皆様へ

第122期 中間報告書

平成29年4月1日～平成29年9月30日



122

常にお客様への感謝の心を持ち、
品質保証と物流の革新を通して、
社員の成長を求め、社会に貢献する。

当社は、産業用包装資材の製造販売を行っております。
重包装袋業界ではトップシェアを誇ります。設立以来、お客様からの、
こんな物を包みたい・運びたいというご要望に対し、メーカーとしてのこだわりを持って、
一つ一つ応えていくことで技術力に磨きをかけてきました。
その積み重ねと、常にプラスワンの展開を心がけて、80年余歩んでまいりました。

————— Since 1935 —————

創立100周年の未来に向けて

袋は、内容物を使用する際には捨てられてしまうものではありませんが、内容物を保護するだけでなく、お客様の製品を包装している間はお客様の顔となります。このことにプライドと責任を持って、100周年の未来に向けて、長期持続的な企業価値の向上を目指していきます。

OWA PAXXS

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
当社は第122期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の前半を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

【日本経済の概況】

四半期実質GDPがプラス成長で連続したほか、雇用情勢も改善するなど、総じて緩やかな景気回復基調が続きました。特に企業部門が順調で、増収傾向に、海外子会社からの受取収入も加わって経常利益も最高水準となりました。

【当社グループの概況】

グループ各社とも概ね順調で、連結業績は前年同期に比べて増収増益となりました。

【第2四半期連結累計期間の業績】

連結売上高は10,390百万円で前年同期に比して349百万円の増収となりました。損益につきましては、営業利益685百万円（前年同期比83百万円の増益）、経常利益752百万円（同104百万円の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益498百万円（同68百万円の増益）となりました。

【第3四半期以降の見通しと課題】

第3四半期以降の当社グループの事業環境は、景気の減速や、原材料値上がりの可能性が懸念されますが、グループ全体での営業活動を強化するとともに製造環境を整備して、技術力と長年の間に培った顧客との信頼関係を基礎に、取引の拡充と適切な利潤の確保に努めてまいります。

Top Message



代表取締役社長
大西 亮

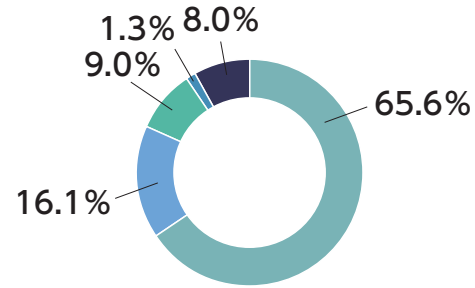
当社グループの今期の業績は、売上高20,500百万円（伸長率2.6%）、営業利益1,226百万円（伸長率2.6%）、経常利益1,332百万円（伸長率2.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益894百万円（伸長率2.9%）を見込んでおります。

配当について

平成30年3月期は年間30円の配当を予想しております。この配当金額は、平成28年10月の株式会社併合（2株を1株とする）実施前の1株当たり換算すると、年間配当15円となり、平成29年3月期と同じです。平成28年3月期に比べると、1円の増配となります。

セグメント情報

売上高 10,390 百万円	■ 重包装袋	6,818百万円
	■ フィルム製品	1,668百万円
	■ コンテナ	939百万円
	■ 不動産賃貸	131百万円
	■ その他	831百万円



重包装袋

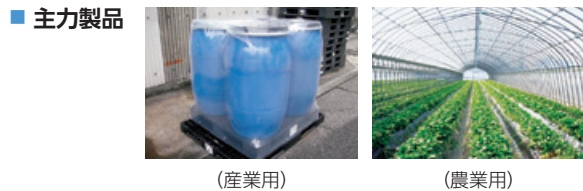
■ 事業説明
 プラスチックの原料等化学工業製品、玄米・精米等の農産物、小麦粉・塩・砂糖等の食品、他にもペットフード、化学肥料、培土等多様な物品を、包装する紙袋・ポリエチレン袋に加え、粉用新製品SVパックを製造・販売しています。内容物の特性や顧客の要望に応じて、ガスバリア・イージーオープン・超防湿・環境負荷低減等の機能を付加しています。

■ 事業概況
 当社の重包装袋の売上数量は前年同期比1.3%増でした。玄米の集荷・貯蔵・輸送形態の変化で、米麦袋の出荷数量は減少しましたが、小幅にとどまりました。砂糖・甘味、塩用途はマイナスとなりましたが、主力の合成樹脂用途や製粉用途を増やし、全体では前年同期よりも数量を伸ばしました。印刷用紙等他の製紙価格が値上がりする中で、重包装袋の原材料であるクラフト原紙の価格は比較的安定して推移しました。

フィルム製品

■ 事業説明
 加熱収縮を利用した大型包装用シュリンクフィルム「エスタイト」、フィルムの弾性を利用したパレットストレッチフィルム「エスラップ」、また食品トレーに貼り合わせる印刷用ポリスチレンフィルム「エスクレア」を主とする産業用フィルム。そして、高い防霧効果、光線透過性、流滴持続性、耐久性を持ち合わせた農POフィルム「キリヨケバーナル」「スーパーバーナ

ル」、また軽くて作業性に優れた「農サクビ」や、透明性や耐久性に優れた「フルーツ物語」などを主とした農業用フィルム。どちらも、環境に優しいポリエチレン樹脂とポリスチレン樹脂を主原料として、製造・販売しています。



■ 事業概況
 当社のフィルム製品の売上数量は、一時期の低迷を脱し、全体で前年同期比5.2%増となりました。シュリンクフィルムの「エスタイト」、一般広幅ポリエチレンフィルムなど産業用が全般に数量を伸ばしました。しかし、農業用は、ハウス用農サクビフィルムが落ち込んだことが原因で前年同期比減少となりました。原油価格の変動を受け、主原料であるポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂は、一旦値上がりした後値下がりに転じましたが、直近ではまた上昇気配になっています。

コンテナ

■ 事業説明
 一度に大量の粉粒物を輸送するための、500kg～1t用のワンウェイ・フレコン「エルコン」、5t・20フィート用を主力とした大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、また液体輸送用の1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」やコンテナライナー「エスタンク」を製造・販売しています。

■ 事業概況
 当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、輸入販売品が減少し、全体で前年同期比2.0%減でした。大型コンテナバッグ「バルコン」、液体輸送用1,000ℓ内袋「エスキューブ」、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」は、いずれも前年同期から数量を減らしました。



不動産賃貸

■ 事業概況
 賃貸用不動産および賃貸契約内容に大きな変動はありません。

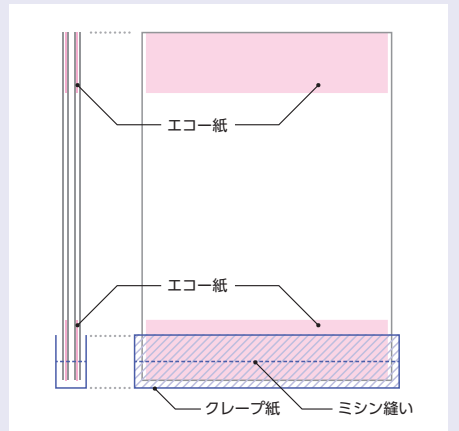
製品紹介 (当社の製品を順次紹介致します。)

エコー袋

袋の強度を高めるために、紙を3枚重ねにして製造する場合、中間層の紙の(ミシンで縫って封をするために強度が必要とされる)上部と底の部分を残して(エコー紙)、中央部分を省いた袋です。袋の強度を保持したまま、紙の使用量を減らすことができます。更に、内側にポリチューブを入れて防湿性を高めたり、片底を折り貼りにして開封用のテープを取り付けて簡単に開封できるようにすること(イージーオープン)が可能です。

特長

- ① コストダウンが図れる。
- ② 温室効果ガス排出量を削減できる：使用後処分時の温室効果ガス排出量を削減可能。

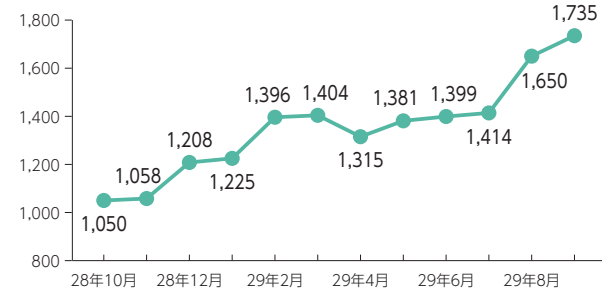


トピックス

株価の推移

当社の株価は今期堅調に推移し、平成29年3月末の1,404円から9月末の1,735円へ331円(+23.6%)上昇しました。

株価(月末終値) (単位:円)



底貼り袋の売上増加

今までも何度か紹介いたしました「進化する底貼り袋」SVパックは、この製品のコスト削減、温室効果ガス削減効果が評価されて、大手食品会社の採用が相次ぎ、売上を伸ばしております。

SVパック

従来の底貼り袋より、粉体製品の漏れを更に抑制できるように開発しました。充填口側底貼部に入れた内力紙にスリットを施して充填口とすることで、内容物の内圧によって弁の機能が高まり、粉漏れを抑えます。

STSの推進

当社はSTSを推進しています。国内グループ会社の全製造数量の約20%でSTSを取り入れました(平成29年3月期)。

STS(昭和パックストレーサビリティシステム)

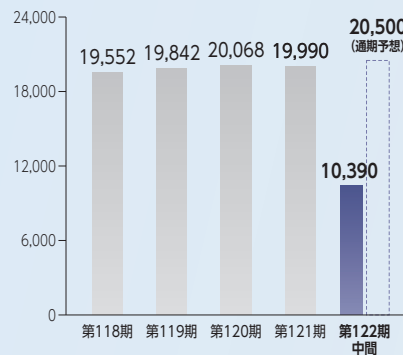
紙袋にバーコードを印刷することで、製造中の品質記録が工程ごとに管理可能となります。各工程は前工程からの品質記録を読み込むことで、生産性および品質面の向上が図れます。

タイ昭和パックス(株)が設立20周年

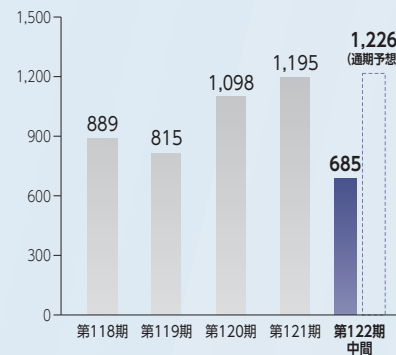
平成9年4月にタイ王国に設立した当社グループのタイ昭和パックス(株)が、設立20周年を迎えました。設備増強により、アジア随一ともいえる月間500万袋製造体制を確立し、タイ王国を中心としたアジア各国ヘクラフト紙重袋等を供給しています。

連結財務ハイライト

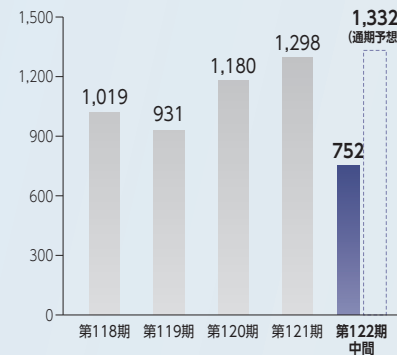
売上高 (単位:百万円)



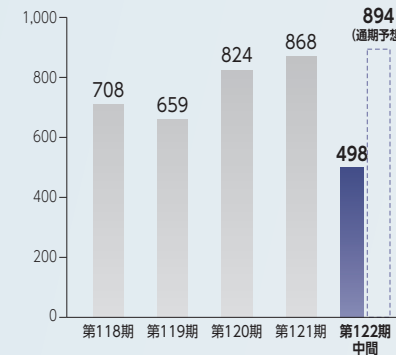
営業利益 (単位:百万円)



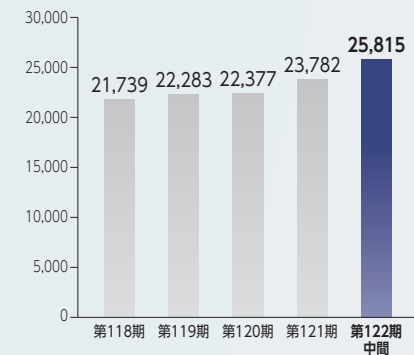
経常利益 (単位:百万円)



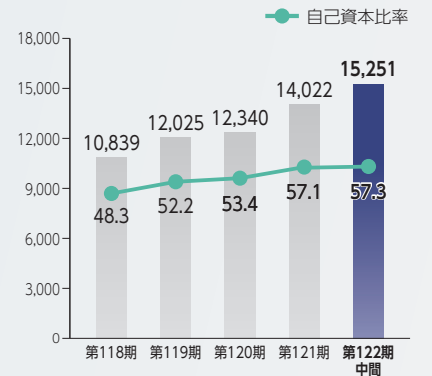
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



総資産 (単位:百万円)



純資産(単位:百万円) / 自己資本比率(単位:%)



会社概要 (平成29年9月30日現在)

■ 設立

昭和10年12月20日

■ 資本金

6億4,050万円

■ 主要な事業内容

クラフト紙袋、樹脂袋、合成樹脂製品の製造販売および各種包装容器、包装材料、包装関係機械の製造販売

■ 主要な事業所

本 社 〒162-0845

東京都新宿区市谷本村町2番12号

電話 03(3269)5111

支 店 大阪、西日本(山口)、中部(名古屋)、東北(仙台)

工 場 東京(埼玉)、防府(山口)、富山、亀山(三重)、盛岡(岩手)、掛川(静岡)

子会社 九州紙工(鹿児島)、ネスコ(東京)、山陰製袋工業(島根)、山陰パック(島根)、昭友商事(東京)、タイ昭和パックス(タイ王国)

当社の株式の状況 (平成29年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数 13,450,000株

■ 発行済株式の総数 4,450,000株

■ 株主数 1,063名

■ 大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社サンエー化研	846	19.1
新生紙パルプ商事株式会社	837	18.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	135	3.0
特種東海製紙株式会社	130	2.9
株式会社みずほ銀行	80	1.8
農林中央金庫	75	1.7
昭和パックス社員持株会	73	1.7
株式会社鹿児島銀行	70	1.6
岡本圭介	50	1.1
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	50	1.1
王子ホールディングス株式会社	50	1.1
丸紅株式会社	50	1.1
みずほ信託銀行株式会社	50	1.1
明治安田生命保険相互会社	50	1.1
中越パルプ工業株式会社	50	1.1

(注)持株比率は自己株式(9,959株)を控除して計算しております。

株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日

定 時 株 主 総 会 毎年6月

期 末 配 当 金 支 払 株 主 確 定 日 3月31日

中 間 配 当 金 支 払 株 主 確 定 日 9月30日

基 準 日 定時株主総会については、3月31日。その他定款に定めがある場合のほか、必要があるときはあらかじめ公告する一定の日。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部

お 取 扱 窓 口 お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。

特別口座管理機関 お 取 扱 店 みずほ信託銀行
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

未 払 配 当 金 の お 支 払 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
(みずほ証券では取次のみとなります。)

単 元 株 式 数 100株

公 告 方 法 電子公告により、当社ホームページに掲載。
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載。

役員 (取締役および監査役) (平成29年9月30日現在)

代表取締役社長	大 西 亮	
常 務 取 締 役	飯 崎 充	管理本部長
取 締 役	森 文 男	生産本部長
取 締 役	野 崎 和 宏	営業本部長
取 締 役	小野寺香一	フィルム事業企画部長
取 締 役	渡 淳 二	サッポロホールディングス(株)顧問
常 勤 監 査 役	佐 藤 隆	
監 査 役	宮 本 貞 彦	新生紙パルプ商事(株) 常勤監査役
監 査 役	山 本 明 広	(株)サンエー化研 常務取締役

※渡 淳二氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

※宮本貞彦氏および山本明広氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。